

令和元年第4回定例市議会

行政報告

北海道恵庭市

第4回定例会が開催されるに当たりまして、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

都市間交流について

はじめに、都市間交流について申し上げます。

和木町との交流では、10月19日に和木町総合コミュニティセンターにおいて、姉妹都市締結40周年記念式典及び祝賀会が開催され、本市からは私、市議会議長、教育長及び職員3名が参加したほか、恵庭商工会議所、恵庭市社会福祉協議会及び恵庭市山口県人会から20名が参加いたしました。また、11月3日開催の「わき愛あいフェスティバル」に職員2名が参加したところであります。

藤枝市との交流では、10月27日に開催された「第5回フード！スマイルフェスティバル in ふじえだ」には本市から4事業者が出展し、職員も5名が参加し、農畜産物等の物販や観光PR等を行ったところであります。

今後も、文化、スポーツ、教育、経済など幅広い分野での交流促進を図り、それぞれのまちの発展につながるよう努めて参ります。

自衛隊の災害派遣について

次に、自衛隊の災害派遣について申し上げます。

台風第15号が千葉県を中心に長期にわたる停電など大規模な被害を及ぼしたところですが、北部方面後方支援隊から千葉県ふつつ富津市に9月15日から9月26日まで、隊員20名、車両9両が派遣され入浴支援に当たりました。

また、全国各地の河川で氾濫等甚大な被害をもたらした台風第19号により被災した福島県郡山市に10月14日から11月3日まで、北部方面後方支援隊から隊員47名、車両20両が派遣され入浴支援に当たりました。

また、同じく台風第19号により被災した宮城県まるもりまち丸森町、福島県いわ

き市、須賀^{すかがわ}川市、石川^ま町に対しましては、第3施設団から隊員36名、車両17両が10月15日から派遣され、施設支援や応急道路の構築、災害廃棄物の運搬などの災害復旧支援活動を行ったところであります。

長期間にわたり、災害復旧活動に当たられました隊員の皆様に敬意を表します。

人口7万人の達成
について

次に、人口7万人の達成について申し上げます。

恵庭市住民基本台帳人口が、本年9月末に7万人を超え、7万9人となったところであります。

市制施行されました昭和45年には、およそ3万5千人の市民の皆様との船出でありましたが、その後、平成5年6月に6万人となって以来、26年3か月を経ての到達となります。

全道及び全国的に人口減少が進む中での7万人達成は、市制施行50周年を来年に控える本市においても大きな節目であり、先人達の絶え間ない努力や地理的優位性を活かしたまちづくりなどによる賜物と考えております。

今後とも、恵庭の魅力を一層広く発信し、更なる発展が遂げられますよう、市民とともに住み良いまちづくりを進めて、努力を積み重ねて参ります。

焼却施設整備事業
について

次に、焼却施設整備事業について申し上げます。

焼却施設については、平成28年9月に工事契約を締結し、整備を進めているところですが、本年9月末に建築工事が完了し、10月15日に施工業者主催の「火入れ式」が開催され、10月16日から試運転に必要なごみの搬入を開始したところであります。

今後は、実際にごみを焼却する試運転を実施しながら、施設に求める性能を確認した後、令和2年3月に施設の引渡しを受け、4月から本稼

働する予定となっております。

恵庭市子育て世代
包括支援センター
ここねっと
Coconet えにわの
開設について

次に、恵庭市子育て世代包括支援センター^{ここねっと}Coconetえにわの開設について申し上げます。

妊娠期から子育て期において、より一層安心して子育てができるよう妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に応じ、母子保健施策と子育て支援施策が一体的で、切れ目のない支援として応援する相談窓口として、「恵庭市子育て世代包括支援センター^{ここねっと}Coconetえにわ」を10月1日より「えにあす」内に開設いたしました。

現在、母子保健事業に関する専門職である保健師1名を専任の母子保健コーディネーターとして配置し、必要な情報提供や助言、支援プランの策定などの業務を行っております。

さらに、月齢に応じた子育て情報を発信する「母子健康手帳アプリ」も開始しており、今後においても妊娠・出産・子育てに寄り添うサポートを推進して参ります。

恵庭市ファミリー
サポート・セン
ター事業について

次に恵庭市ファミリー・サポート・センター事業について申し上げます。

10月1日より、子どもの預かりや保育園の送迎などのサポートを行う「ファミリー・サポート・センター事業」と、子どもが病気の時や保護者が急な仕事等のときに子どもの預かりを行う「病児・緊急預かり事業」の2つを、特定非営利活動法人ワーカーズコープに委託し、一体的な事業運営としました。今後も、利用者の利便性の向上と事務の効率化を図りながら事業を推進して参ります。

農業振興について

次に、農業振興について申し上げます。

北海道農政事務所の令和元年度水稻の作付面積及び予想収穫量により

ますと、作況指数は全道で104、恵庭市を含む石狩管内は103となり、収量・品質ともに平年を上回る状況となりました。

また、他の農作物につきましても、同様に収量等が平年を上回る状況となっております。

次に、市営牧場についてであります。5月17日及び22日に入牧を行い、市内外の酪農家15戸より206頭の乳用牛を受入れ、10月24日及び25日の退牧日まで161日間の放牧を行い、無事生産者へ引き渡しを行ったところであります。

次に、農業農村整備についてであります。平成30年度において、千歳川第1及び第2揚水機場が供用開始されるとともに用水路整備を進めておりました国営かんがい排水事業、道央用水地区が完了し、10月29日に完工式並びに完工祝賀会が開催されたところです。

雇用対策について

次に、雇用対策について申し上げます。

雇用情勢につきましては、恵庭・千歳管内における9月末の有効求人倍率は1.24倍で、人手不足の傾向が継続しております。

市としましては、6月21日に「ジョブガイド恵庭」において女性向け就職相談会、9月29日に地元企業20社、求職者35名の参加のもと、一般向けの合同企業就職説明会を開催し、11月13日に地元企業等11社、求職者延べ62名の参加のもと高齢者・女性向けの合同企業就職説明会を開催しました。

今後も、大学・専門学生と中学生による市内企業をバスで巡る「恵庭の企業探検隊」を実施するなど、地元就職の促進に取り組んで参ります。

イトーヨーカドーの閉店後の対応について

次に、イトーヨーカドーの閉店後の対応について申し上げます。

9月29日、イトーヨーカドー恵庭店が多くの市民の皆様に惜しまれつつ37年の営業を終えたところですが、離職を余儀なくされたパート

を含む従業員の雇用対策として、北海道、石狩振興局、ハローワーク等との連携の下、9月18日に恵庭地域大量雇用変動等対策本部を設置し、同月20日には恵庭地域雇用対策会議が開催されました。

また、離職者を対象にハローワークによる店舗内での聞き取り調査や相談会を実施したほか、10月16日には関係機関も連携し、商工会議所を会場にイトーヨーカドー恵庭店離職者総合相談会を実施し、53名が相談に訪れたところです。

なお、今後の建物の活用については、所有者に情報提供を求めておりますが、現段階で回答は無いことから、今後も引き続き情報提供を求めて参ります。

農商工等連携について

次に、農商工等連携事業について申し上げます。

9月14日には「ひと・まち・しごとフェス@えにわん産業祭2019」を市民会館において、47社49ブースの出展のもと開催しました。屋内では企業PRブース、姉妹都市・友好都市交流ブース等を設け、屋外では飲食店等による「えにわんオータムフェス」を開催したところ、約3,500人の来場がありました。

また、10月27日に開催された「第5回フード！スマイルフェスティバルinふじえだ」では市内の農商工等連携事業者4社が参加し、恵庭市で開発した連携商品等を販売し、PRしました。

今後も、市内の農商工等連携やものづくり企業の商品や技術のPRを通じて市の魅力を発信し、地域産業の活性化につなげて参ります。

秋のイベントについて

次に、秋のイベントについて申し上げます。

10月11日から14日にかけて、「恵庭溪谷紅葉バスめぐり」を実施しました。13日は、台風第19号の影響で中止となりましたが、3日間の参加者は市内外から450人となりました。

10月19日に「恵庭ハッピーハロウィン実行委員会」主催により開催された「えにわハッピーハロウィン2019」では、会場となった北海道文教大学に、子ども達が1万個以上のカボチャを飾り付け、ランタンづくり体験やステージパフォーマンスなどが行われ、大勢の家族連れで賑わいました。

花の拠点整備工事
について

次に、花の拠点整備工事について申し上げます。

9月13日よりガーデンエリアの整備工事に着手しました。2か年で工事を行い、令和2年秋頃に一部供用開始を予定しております。

花の拠点センター
ハウス改修事業に
ついて

次に、花の拠点センターハウス改修事業について申し上げます。

10月2日に開催した「花の拠点センターハウス改修事業審査委員会」での審査結果に基づき、最優秀提案者を決定したところであり、今後、改修工事を行い、令和2年中の供用開始を予定しております。

全国都市緑化フェ
アの開催誘致につ
いて

最後に、全国都市緑化フェアの開催誘致について申し上げます。

このたび、恵庭市では、現在整備中の「(仮称)花の拠点」をメイン会場として、北海道との共同開催による全国都市緑化フェアの誘致活動を進めることといたしました。

北海道内において本フェアが開催されることとなれば、昭和61年に札幌市・百合が原公園で開催されて以来2回目となります。

全国都市緑化フェアは、国、地方公共団体、民間の協力による都市緑化の知識の普及、啓発を目的としたものであり、期間中に中心的な行事として「全国都市緑化祭」も併せて開催されております。

当面のスケジュールではありますが、緑化フェア開催の2年前には国土交通大臣の同意取得が必要なことから、来年夏頃を目途に北海道と共に大臣同意に必要な基本構想の策定を進めて参ります。

以上、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、本議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。